

# **FT-65**

## **メモリープログラマー**

## **インストラクションマニュアル**

メモリープログラマーは FT-65 のセットアップメニュー設定やメモリー内容、メモリータグなどをパソコンで設定や編集することができるソフトウェアです。

# 目次

<b>はじめに (概要)</b> .....	<b>2</b>
本書の記号について .....	2
ソフトウェア使用条件 .....	2
システム要件 (動作環境) .....	2
対応 OS .....	2
CPU .....	2
RAM( システムメモリ ) .....	2
HDD(Hard Disk) .....	2
必要機器 .....	3
必要なケーブル .....	3
商標 .....	3
メモリープログラマーのセットアップの 流れ .....	3
<b>メモリープログラマーのセットアップ</b> .....	<b>4</b>
SCU-35 ドライバーソフトのインストー ル .....	4
準備 .....	4
SCU-35 ドライバーソフトのインス トール .....	4
ドライバーのインストールが失敗した場 合 .....	5
プログラミングケーブルドライバーのア ンインストール .....	6
メモリープログラマーのインストール ..	7
準備 .....	7
メモリープログラマーのアンインストー ル .....	8
<b>基本操作</b> .....	<b>9</b>
メモリープログラマーの起動 .....	9
トランシーバーと PC との接続 .....	9
SCU-35 ドライバーの COM ポートを設 定する .....	10
トランシーバー側から設定を読み込む .....	10
メモリープログラマーでトランシーバー の設定を編集する .....	11
トランシーバーへの設定の書き込み ..	11
<b>メモリープログラマーについて</b> .....	<b>12</b>
初期画面 .....	12
<b>メニューバーについて</b> .....	<b>13</b>
ファイルメニュー .....	13
①新規作成 .....	13
②開く .....	13
③上書き保存 .....	13
④名前を付けて保存 .....	13
⑤閉じる .....	13
編集メニュー .....	14
①チャンネル編集 .....	14
②セットモード編集 .....	14
③バンクチャンネル .....	14

設定メニュー .....	15
①COMポート設定 .....	15
②データの初期化 .....	15
通信メニュー .....	15
①データ受信 .....	15
②データ送信 .....	15
表示メニュー .....	16
①ツールバー .....	16
②ステータスバー .....	16
バージョンメニュー .....	16
①バージョン情報 .....	16
<b>切り替えボタン</b> .....	<b>17</b>
① Normal .....	17
② PMS .....	17
③ VFO-A .....	17
④ VFO-B .....	17
⑤ Home .....	17
⑥ P .....	17
<b>設定入力エリア</b> .....	<b>18</b>
① RX Frequency .....	18
② Offset Frequency .....	18
③ Auto Offset .....	18
④ Offset Direction .....	18
⑤ CTCSS Decode .....	18
⑥ CTCSS Encode .....	18
⑦ DCS Decode .....	18
⑧ DCS Encode .....	18
⑨ Channel Name .....	18
⑩ TX Power .....	18
⑪ Scan .....	19
⑫ Wide Narrow .....	19
⑬ Step .....	19
⑭ SQL Type .....	19
⑮ Bank .....	19
<b>トラブルシューティング</b> .....	<b>20</b>
FT-65 からデータの受信ができない。 または通信がスタートしない .....	20
データの送受信が途中で止まってしまっ た .....	20




## はじめに（概要）

メモリープログラマーは、FT-65 のメモリーチャンネル、セットアップメニューなどを、パソコンを使って、効率よく、かつ簡単に編集することを可能にします。編集した設定データはパソコンにファイルとして自由に保存できます。また、設定データを FT-65 から読み込んだり、編集したりした設定データを FT-65 に転送することができます。

- VFO、メモリーチャンネル、HOME チャンネルなどの様々な編集（周波数、メモリーネーム、スケール設定、レピータ設定、送信電力など）
- メモリーバンクの編集
- 分かりやすい画面でセットモードの各種設定
- コピー、移動など使いやすい編集機能

## 本書の記号について

- 本書は、下記の記号を使って、重要な情報が記載されていることを示しています。

記号	説明
	このアイコンは、お客様に理解して頂きたい注意と警告を示しています。
	このアイコンは、役に立つ情報やヒントを示しています。
	このアイコンは、関連した情報が記載されている他のページを示しています。

- 本マニュアルの手順は、Windows 7<sup>®</sup> (64 bit 版) を画面イラストを例に説明しています。

## ソフトウェア使用条件

- 下記に示す“ソフトウェア使用条件”をよくお読みいただき同意の上で本ソフトウェアをダウンロードしてください。

- ソフトウェアの著作権は当社が保有しております。
- 当社の許可なく取扱説明書やソフトウェアの内容の一部、または全部を複製、改変したり、電子メールに添付して送信したりすることはできません。
- 取扱説明書やソフトウェアを利用して、金品との交換はできません。
- 本ソフトウェアを使用した結果についての責任は、いかなる場合でも負いません。

- このマニュアルをよくお読みになり、ソフトウェアをインストールしてください。

## システム要件（動作環境）

### 対応 OS

Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 10 (32 ビット /64 ビット)  
Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 8.1 (32 ビット /64 ビット)  
Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 7 (32 ビット /64 ビット)

### CPU

OS（オペレーティングシステム）のシステム要件を満たす性能を持つ CPU

### RAM( システムメモリ )

OS（オペレーティングシステム）のシステム要件を満たす容量以上の RAM（システムメモリ）

### HDD(Hard Disk)

OS（オペレーティングシステム）のシステム要件を満たす容量以上の HDD（ハードディスク）なお、OS が動作する為に必要な空き容量とは別に、プログラムを実行する為に、約 50MByte 以上の空き容量が必要です。

## 必要機器

USB ポート (USB1.1/USB2.0) を備えたパソコン

## 必要なケーブル

SCU-35 プログラミングケーブル



SCU-35 プログラミングケーブルを使用する前に、PC にドライバーをインストールする必要があります。

## 商標

Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup> 7、Windows<sup>®</sup> 8.1、Windows<sup>®</sup> 10 は、米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

## メモリープログラマーのセットアップの流れ

メモリープログラマーを初めて利用する場合の手順は、下記となります。

**SCU-35 ドライバーソフトのインストール ( 4 ページ )**



**メモリープログラマーのインストール ( 7 ページ )**



**基本操作 ( 9 ページ )**



**メモリープログラマーについて ( 12 ページ )**

## メモリープログラマーのセットアップ

### SCU-35 ドライバーソフトのインストール

#### 準備

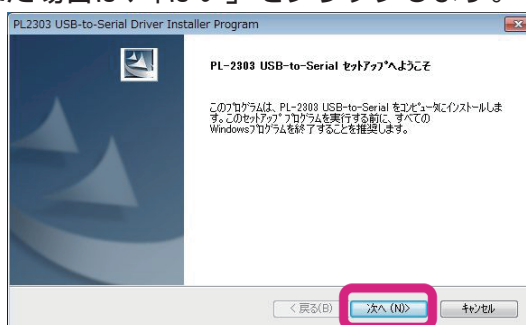
- あらかじめ、当社のホームページ (<http://www.yaesu.com/jp>) よりソフトウェアの圧縮ファイルをダウンロードしてください。
- ダウンロードしたファイルは、解凍して一つのフォルダーに入れておいてください。
- Administrator（管理者）権限を持つユーザーでログインしてください。



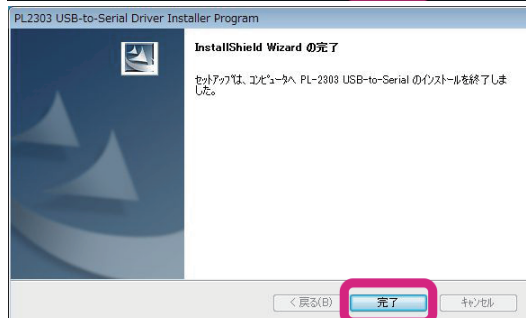
ドライバーをインストールする前に SCU-35 プログラミングケーブルを PC に接続しないでください。

### SCU-35 ドライバーソフトのインストール

1. 「PL2303\_Prolific\_DriverInstaller\_v\*\*\*\*.exe」をダブルクリックします。  
「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。
2. 右のダイアログが表示されるので、「次へ」をクリックして、画面の指示に従ってインストールをします。



3. 右のダイアログが表示されたら、「完了」をクリックしてインストールを終了します。



4. SCU-35 プログラミングケーブルを PC に接続します。
  - SCU-35 プログラミングケーブルが自動的に PC に認識されます。
  - SCU-35 ドライバーが正しくインストールされたかどうかを確認してください。インストールに失敗した場合は、“ドライバーのインストールが失敗した場合”を参照してください。
5. PC の「スタート」をクリックしてから「コンピューター」を右クリックします。
6. 「プロパティ」をクリックしてから、「デバイスマネージャー」をクリックします。
7. 「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。
8. 「デバイスマネージャー」画面が開いたら、「ポート (COM と LPT)」をダブルクリックします。
  - “Prolific USB-to-Serial Comm Port (COM X)” (X は COM ポート番号) が表示されたら、SCU-35 プログラミングケーブルは正常に動作しています。
  - トランシーバーを PC 接続時に COM ポート番号が必要ですので、メモしておいてください。

## メモリープログラマーのセットアップ

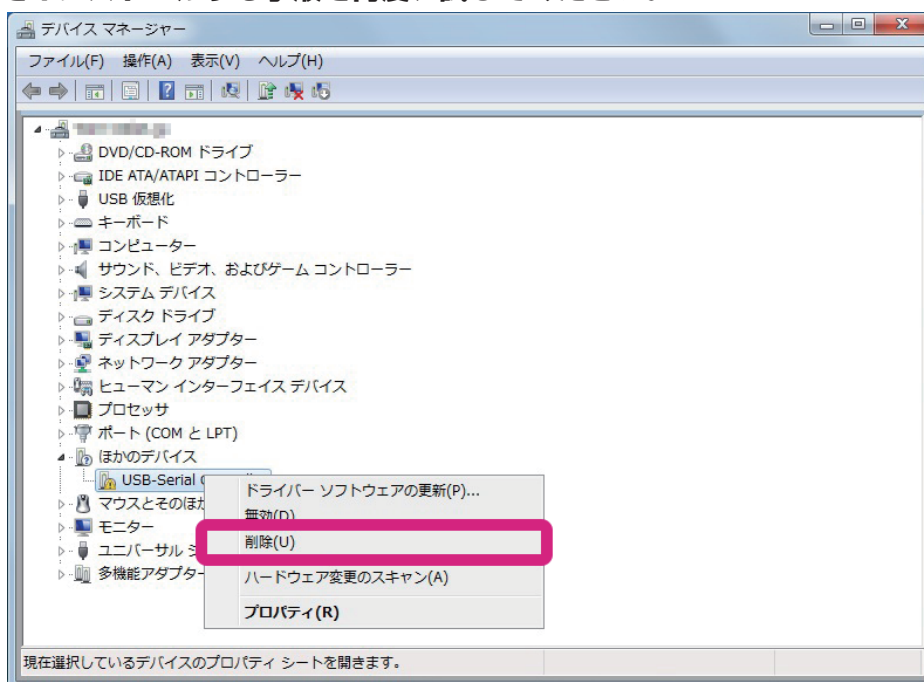
### ドライバーのインストールが失敗した場合

ドライバーのインストールが失敗する場合は以下のときです。

- インストール中にインストールをキャンセルしたとき。
- ドライバーをインストールする前に SCU-35 プログラミングケーブルを PC に接続したとき。

ドライバーのインストールが失敗した場合は以下の手順に従ってください。

1. 「SCU-35 ドライバーソフトのインストール」の手順 6 で開いた「デバイスマネージャー」画面を開きます。
2. 「ほかのデバイス」の “!” が含まれている表示を右クリックして、「削除」をクリックして、ドライバーをアンインストールします。
3. ドライバーをインストールする手順を再度、試してください。

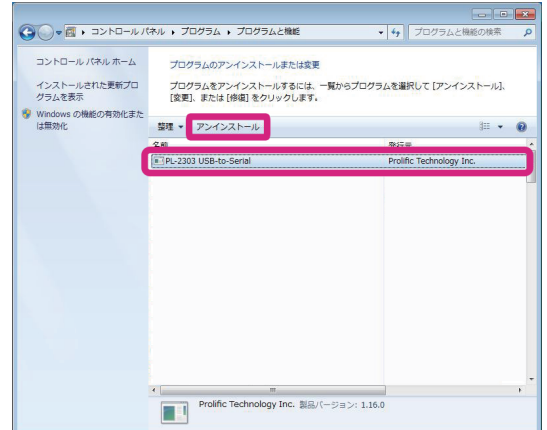


# メモリープログラマーのセットアップ

## プログラミングケーブルドライバーのアンインストール

SCU-35 プログラミングケーブルドライバーをアンインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. SCU-35 プログラミングケーブルを PC から抜きます。
2. パソコンのデスクトップから「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムのアンインストール」をクリックします。
3. 「PL- 2303 USB-to-Serial」をクリックしてから、「アンインストール」をクリックします。



4. 「次へ」をクリックします。



5. 「はい」をクリックして SCU-35 プログラミングケーブルドライバーをアンインストールします。



6. ソフトウェアのインストールが行われ、右のダイアログが表示されたら、「完了」をクリックしてインストールを終了します。





# メモリープログラマーのセットアップ

## メモリープログラマーのインストール

### 準備

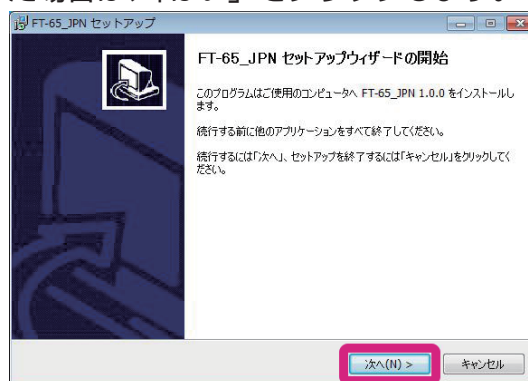
- あらかじめ、当社のホームページ (<http://www.yaesu.com/jp>) よりソフトウェアの圧縮ファイルをダウンロードしてください。
- ダウンロードしたファイルは、解凍して一つのフォルダーに入れておいてください。
- Administrator（管理者）権限を持つユーザーでログインしてください。

メモリープログラマーのインストール手順を、Windows<sup>®</sup> 7 (64bit 版) を例に説明します。

#### 1. 「Setup.exe」をダブルクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。

#### 2. 右のダイアログが表示されるので、「次へ」をクリックして、画面の指示に従ってインストールをします。



#### 3. 右のダイアログが表示されたら、「完了」をクリックしてインストールを終了します。





## メモリープログラマーのセットアップ

### メモリープログラマーのアンインストール

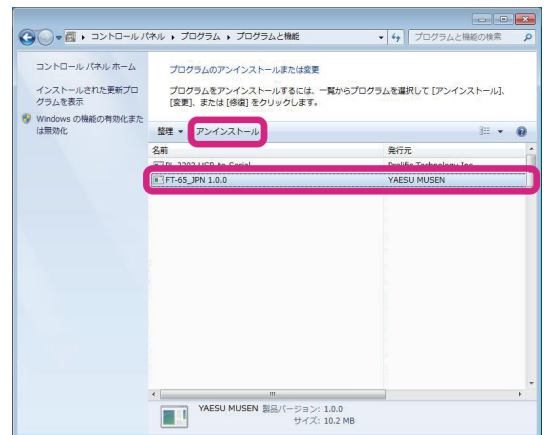
FT-65 のメモリープログラマーのアンインストール手順を、Windows® 7 (64bit 版) を例に説明します。

1. SCU-35 プログラミングケーブルを PC から抜きます。
2. パソコンのデスクトップから「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムのアンインストール」をクリックします。



「プログラムのアンインストール」が表示されていない場合は、「プログラムと機能」をクリックします。

3. 「FT-65\_JPN \*.\*」をクリックして、「アンインストール」をクリックします。  
「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。

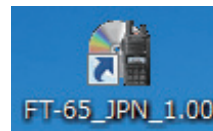


## 基本操作

### メモリープログラマーの起動

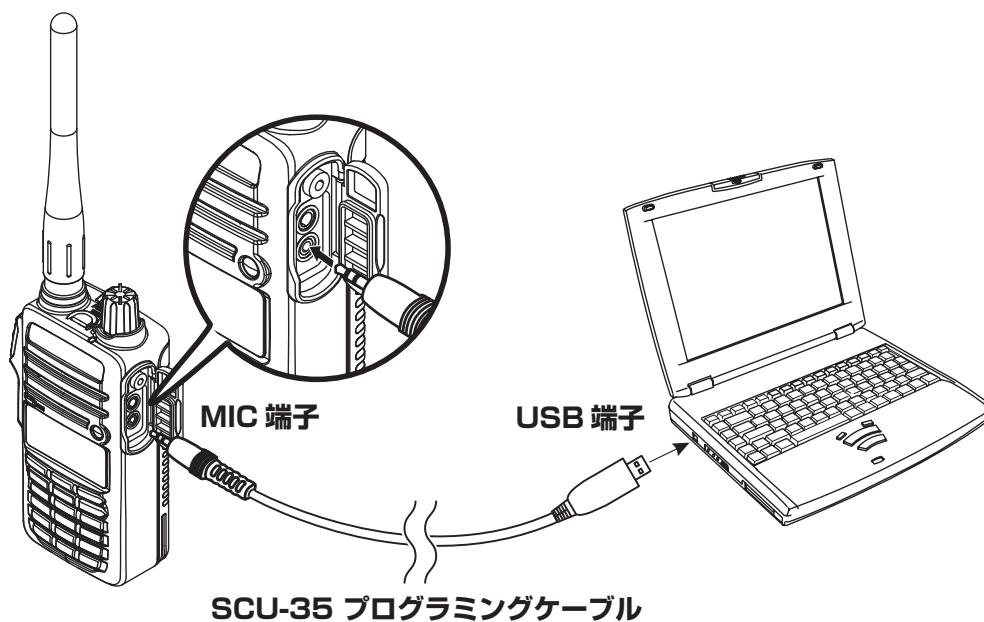
デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしてメモリープログラマーを起動します。

メモリープログラマーを終了するには、「ファイル」メニューから「終了」をクリックします。



### トランシーバーと PC との接続

1. トランシーバーの電源をオフにします。
2. SCU-35 プログラミングケーブルを PC の USB 端子へ接続して、一方をトランシーバーの MIC 端子に接続します。



データの送受信中は、SCU-35 プログラミングケーブルを絶対に抜かないでください。

3. トランシーバーの電源をオンにします。

## 基本操作

### SCU-35 ドライバーの COM ポートを設定する

1. 設定メニューの「COMポート設定」をクリックします。  
「COM ポート設定」画面が開きます。



アイコンをクリックしても、設定できます。



2. COM ポート番号を選択してから、[OK] をクリックします。

SCU-35 のドライバーの COM ポート番号は、「SCU-35 ドライバーソフトのインストール」の手順 8 をご覧ください。



### トランシーバー側から設定を読み込む

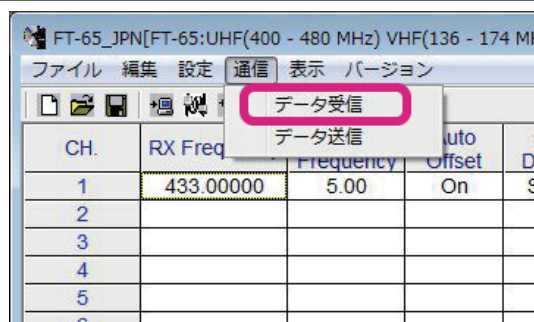


トランシーバー側への設定の書き込みは、11 ページの「トランシーバーへの設定の書き込み」をご覧ください。

1. 「通信」メニューの「データ受信」をクリックします。



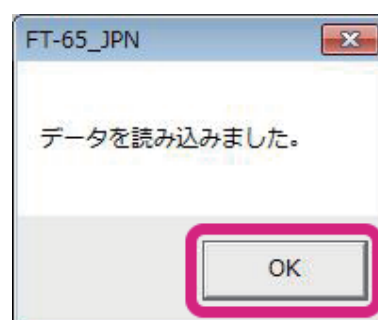
アイコンをクリックしても、設定できます。



2. 確認画面が表示されたら、「OK」をクリックします。  
進捗状況が表示されます。



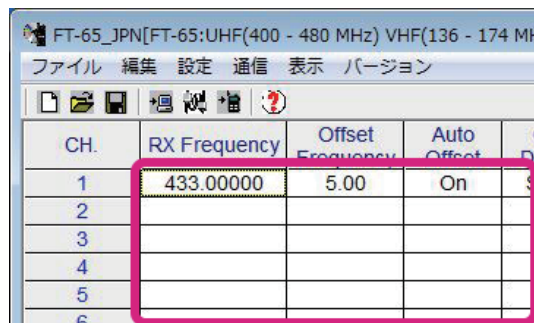
3. 読み込みが成功すると、ポップアップ画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



## 基本操作

### メモリープログラマーでトランシーバーの設定を編集する

1. 各チャンネルのセルをダブルクリックします。
2. 数字を入力するか、各チャンネルのドロップダウンから設定を選択します。  
設定内容は、必要なチャンネルへコピーアンドペーストできます。



各チャンネルの行をカット、コピー、ペースト（「Ctrl」キーと「X」キー、「Ctrl」キーと「C」キー、「Ctrl」キーと「V」キー）ができますが、各チャンネルのセルをカット、コピー、ペーストすることはできません。



各設定内容については、18 ページを参照してください。

### トランシーバーへの設定の書き込み



メモリープログラマーのデータは、同じトランシーバーのモデルのみ書き込みできます。

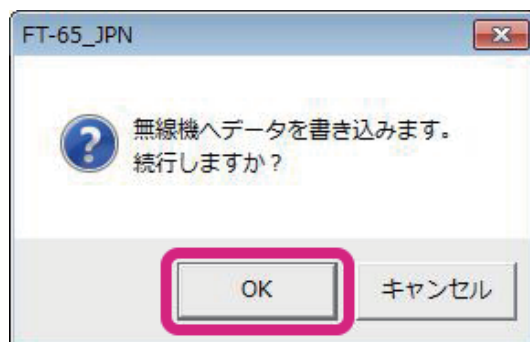
1. プログラムメニューの「データ送信」をクリックします。



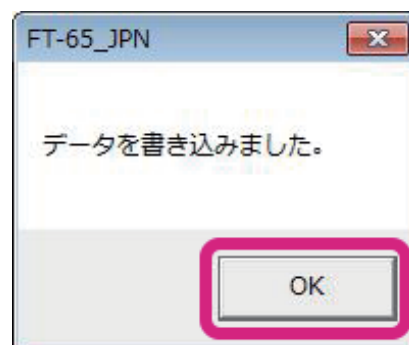
 アイコンをクリックしても、設定できます。



2. 確認画面が表示されたら、「OK」をクリックします。  
書き込みの進捗状況が表示されます。



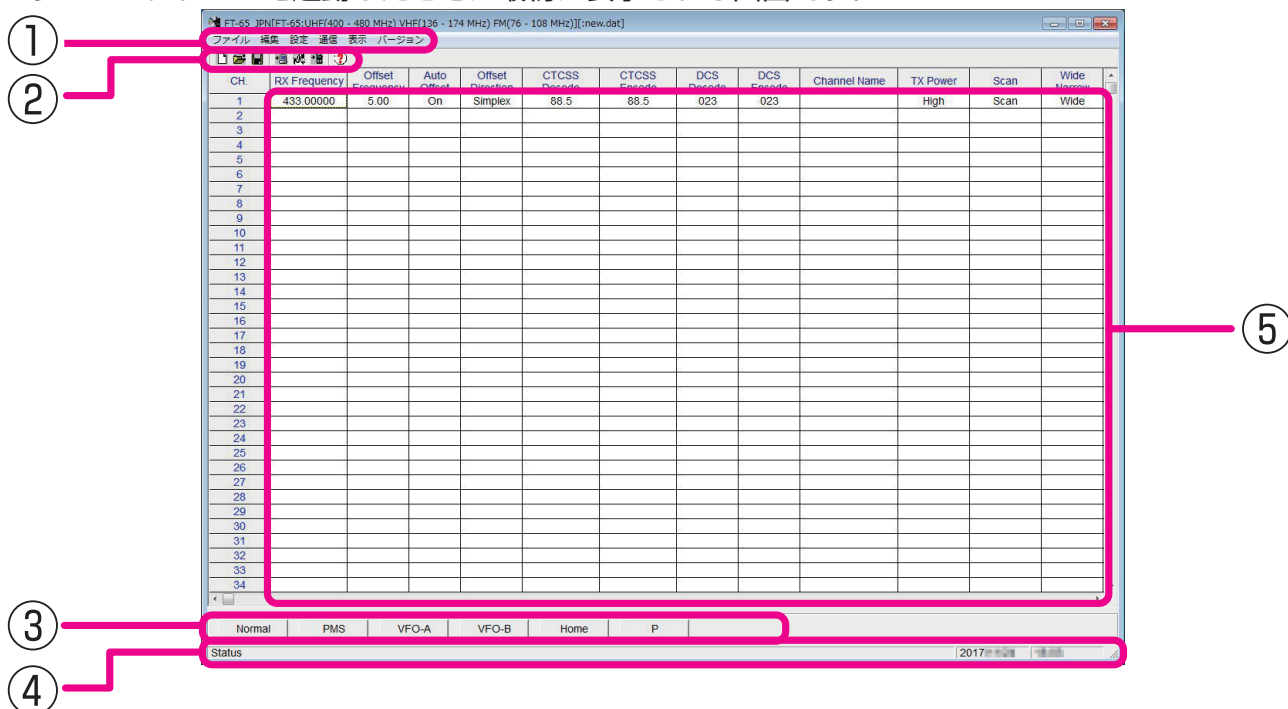
3. 書き込みが成功すると、ポップアップ画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



# メモリープログラマーについて

## 初期画面

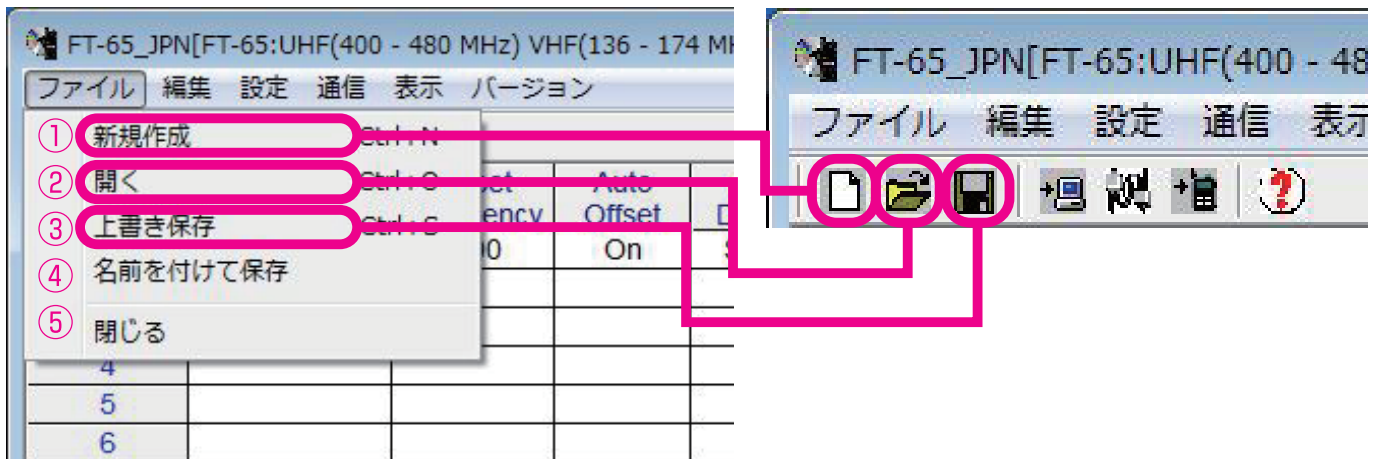
メモリープログラマーを起動したときに最初に表示される画面です。



	Name	Description	📖
①	メニューバー	メニューバーをクリックすると、トランシーバーからの読み込み、書き込み、設定の初期化などができます。	13
②	ツールバー	表示メニューの「ツールバー」をクリックすると、ツールバーの表示 / 非表示ができます。ツールバーは、メモリープログラマーでよく使う設定をショートカットボタンにしています。	16
③	切り替えボタン	各設定内容 (PMS、VFO-A など) を切り換えることができます。	17
④	ステータスバー	ビューメニューの「ステータスバー」をクリックすると、ステータスバーの表示 / 非表示ができます。ステータスバーには日時が表示できます。	16
⑤	設定入力エリア	ダブルクリックして、各チャンネル設定を入力できます。	18

## メニューバーについて

### ファイルメニュー



#### ①新規作成

新規の設定ファイルを作成します。

「ファイル」⇒「新規作成」をクリックすると、初期設定のファイルが開きます。

初期設定は、トランシーバーの初期設定のファイルが設定されています。

上の右図のアイコンをクリックすると「新規作成」と同じように動作します。

#### ②開く

PC に保存されている設定ファイルを開きます。

「ファイル」⇒「開く」をクリックすると、PC に保存されているファイルのウィンドウが表示されます。

上の右図のアイコンをクリックすると「開く」と同じように動作します。

#### ③上書き保存

同じ階層にある保存済みの同じ名前のファイルを上書き保存できます。

「ファイル」⇒「上書き保存」をクリックすると、設定ファイルの上書き確認画面が表示されますので、[OK] をクリックすると上書き保存されます。

上の右図のアイコンをクリックすると「上書き保存」と同じように動作します。

#### ④名前を付けて保存

新しい名前で設定ファイルを保存できます。

「ファイル」⇒「名前を付けて保存」をクリックすると、保存先を指定する画面が表示されます。

新しい名前で設定ファイルを保存するには、保存先で新しい名前を入力して「OK」を押します。

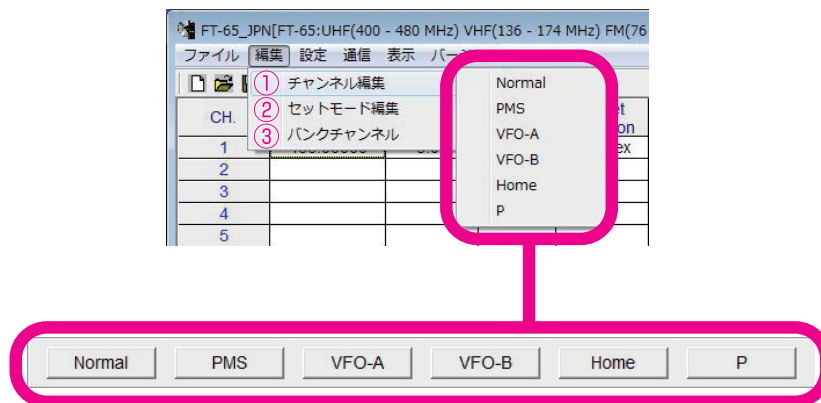
#### ⑤閉じる

「ファイル」⇒「閉じる」をクリックすると、設定されているファイルを閉じて、メモリープログラマーを終了します。



# メニューバーについて

## 編集メニュー

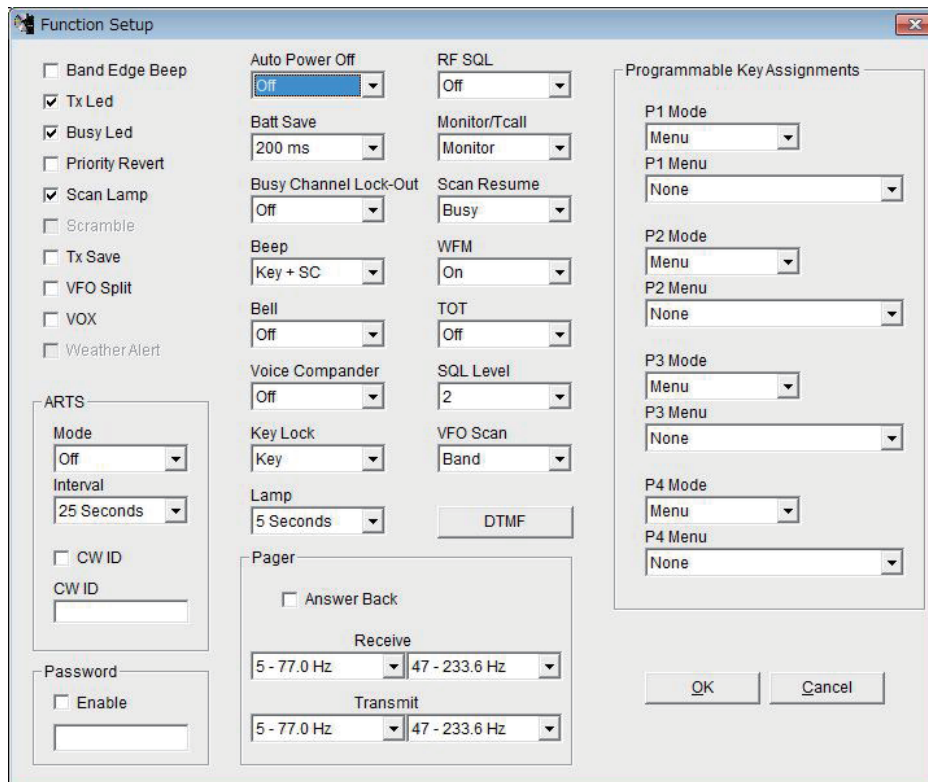


### ①チャンネル編集

「チャンネル編集」をクリックすると、切り換える設定入力リストを表示できます。画面下にある切り替えボタンと同じように動作します。詳細については、17 ページの「切り替えボタン」をご覧ください。

### ②セットモード編集

セットモードでは、FT-65 のさまざまな機能を使い方にあわせてカスタマイズできます。「編集」 ➡ 「セットモード編集」をクリックする設定セットモードの設定画面が表示されます。



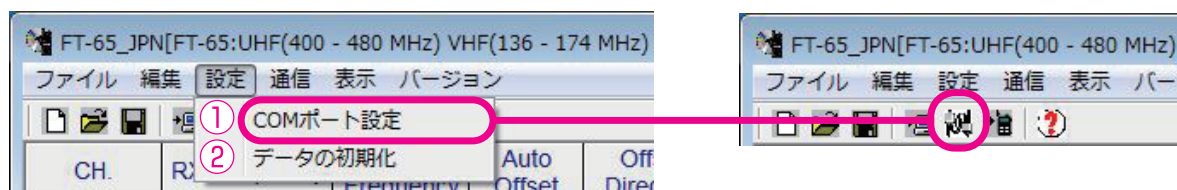
### ③バンクチャンネル

メモリーに登録したチャンネルや PMS 用のメモリーチャンネルを、BANK 1 ～ BANK 10 のメモリーバンクへ登録できます。メモリーバンクを呼び出すと、そのメモリーバンクに登録されたメモリーチャンネルだけを呼び出すことができます。



## メニューバーについて

### 設定メニュー



#### ①COMポート設定

SCU-35 ドライバーの COM ポート設定を設定します。

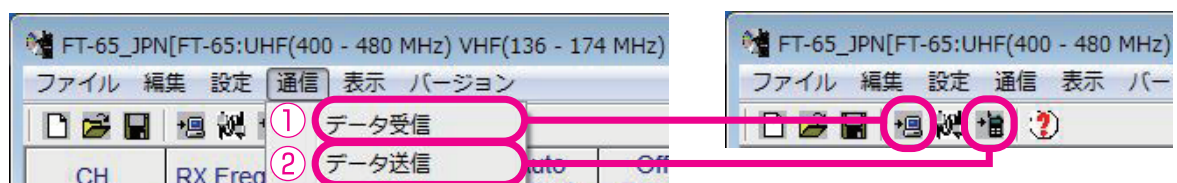
上の右図のアイコンをクリックすると「COMポート設定」と同じように動作します。

#### ②データの初期化

メモリープログラマーの設定の初期化をします。

設定ファイルが保存されていない場合は、設定ファイルの保存の確認画面が表示されます。

### 通信メニュー



#### ①データ受信

トランシーバー側の設定データをメモリープログラマー側へ読み込みます。

上の右図のアイコンをクリックすると「データ受信」と同じように動作します。



読み込んだデータは、「ファイル」 ➡ 「上書き保存」 / 「名前を付けて保存」 から保存できます。



詳細については、“トランシーバー側から設定を読み込む” をご覧ください。

#### ②データ送信

PC 側から設定データをトランシーバー側へ書き込みます。

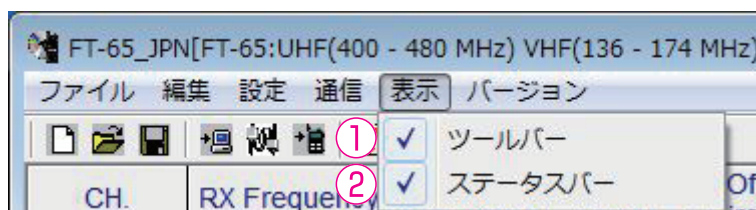
上の右図のアイコンをクリックすると「データ送信」と同じように動作します。



詳細については、“トランシーバーへの設定の書き込み” をご覧ください。

## メニューバーについて

### 表示メニュー



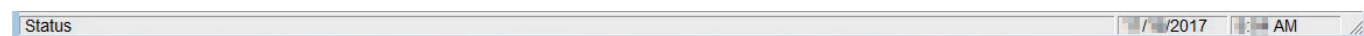
#### ① ツールバー

「表示」⇒「ツールバー」をクリックすると、ツールバーを表示 / 非表示できます。  
ツールバーは、メモリープログラマーでよく使う設定をショートカットボタンにしています。ツールバーが表示されているときは、ツールバーの横にチェックマークが入ります。

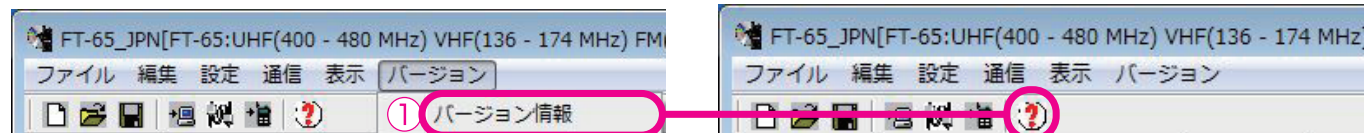


#### ② ステータスバー

「表示」⇒「ステータスバー」をクリックすると、ステータスバーを表示 / 非表示できます。  
ステータスバーには日時が表示できます。ステータスバーが表示されているときは、ステータスバーの横にチェックマークが入ります。



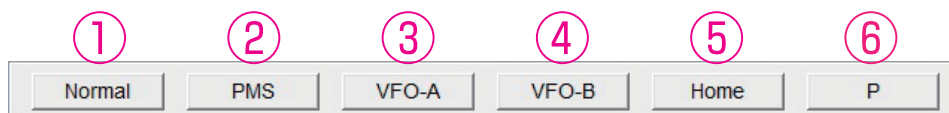
### バージョンメニュー



#### ① バージョン情報

「バージョン」⇒「バージョン情報」をクリックすると、メモリープログラマーのバージョンと著作権が表示されます。上の右図のアイコンをクリックすると「バージョン情報」と同じように動作します。

## 切り替えボタン



### ① Normal

「Normal」をクリックすると、通常画面の設定を変更できます。

### ② PMS

「PMS」をクリックすると、PMS（プログラムメモリースキャン）のメモリー設定を変更できます。

### ③ VFO-A

「VFO-A」をクリックすると、VFO-A の初期設定を変更できます。

### ④ VFO-B

「VFO-B」をクリックすると、VFO-B の初期設定を変更できます。

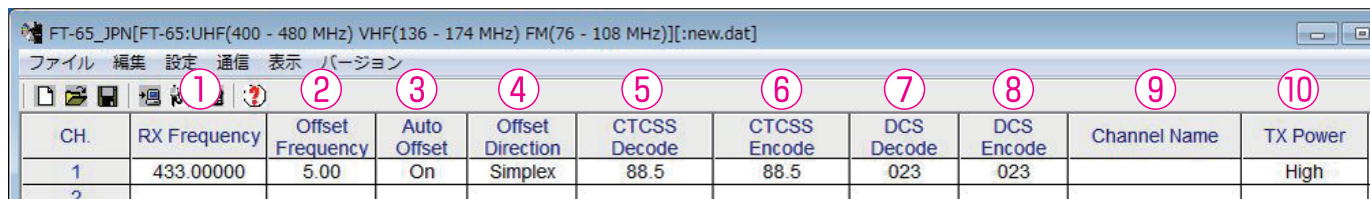
### ⑤ Home

「Home」をクリックすると、ホームチャンネルの初期設定を変更できます。

### ⑥ P

「P」をクリックすると、トランシーバーの [P1] ～ [P4] キーの初期設定を変更できます。

## 設定入力エリア



CH.	RX Frequency	Offset Frequency	Auto Offset	Offset Direction	CTCSS Decode	CTCSS Encode	DCS Decode	DCS Encode	Channel Name	TX Power
1	433.00000	5.00	On	Simplex	88.5	88.5	023	023		High
2										

### ① RX Frequency

受信周波数を入力できます。

### ② Offset Frequency

レピータのシフト幅を設定します。

### ③ Auto Offset

レピータの ARS 機能の ON/OFF を設定します。

### ④ Offset Direction

レピータのシフト方向を設定します。

- Plus  
周波数の高い方へシフトします。
- Minus  
周波数の低い方へシフトします。
- Simplex  
シフトしません。

### ⑤ CTCSS Decode

受信側のトーン周波数を設定します。

### ⑥ CTCSS Encode

送信側のトーン周波数を設定します。

### ⑦ DCS Decode

受信側の DCS コードを設定します。

### ⑧ DCS Encode

送信側の DCS コードを設定します。

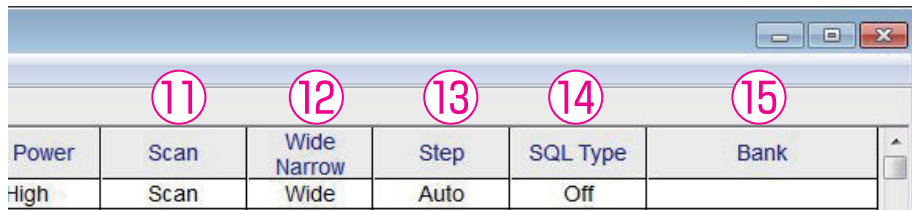
### ⑨ Channel Name

メモリーチャンネルの名前を変更します。

### ⑩ TX Power

送信出力を設定します。

## 設定入力エリア



### ⑪ Scan

受信チャンネルのスキャン設定を選択します。

- Scan  
スキャン停止時の動作設定に従って、スキャン動作を行います
- Skip  
スキャン中は、設定したメモリーチャンネルをスキップします。

### ⑫ Wide Narrow

FM モード時の送信変調レベル（ワイド／ナロー）の設定を選択できます。

- Wide  
通常の送信変調レベルです。
- Narrow  
送信変調レベルが通常の約半分になります。

### ⑬ Step

周波数ステップの設定をします。初期設定（Auto）では、その受信周波数に従って自動的に最適な周波数ステップが設定されています。

### ⑭ SQL Type

トーンスケルチの種類を選択します。

### ⑮ Bank

メモリーに登録したチャンネルや PMS 用のメモリーチャンネルを、BANK 1 ～ BANK 10 のメモリーバンクへ登録できます。メモリーバンクを選択すると、そのメモリーバンクに登録されたメモリーチャンネルだけを呼び出すことができます。

## トラブルシューティング

### **FT-65 からデータの受信ができない。または通信がスタートしない**

- 通信ケーブルが正しく接続されていますか？  
正しく接続してください。
- FT-65 の電池が消耗していませんか？  
充電するか、新しい電池に交換してください。
- 通信用の COM ポートが正しく設定されていますか？  
COM ポートを正しく設定してください。

### **データの送受信が途中で止まってしまった**

- 通信ケーブルが途中で抜けてしまったか、接触不良ではありませんか？  
接続を確認して最初からやり直してください
- FT-65 の電池が消耗していませんか？  
充電するか、新しい電池に交換してください。



Copyright 2017  
YAESU MUSEN CO., LTD.  
All rights reserved.

No portion of this manual may be  
reproduced without the permission of  
YAESU MUSEN CO., LTD.

**YAESU MUSEN CO., LTD.**

Tennozu Parkside Building  
2-5-8 Higashi-Shinagawa, Shinagawa-ku, Tokyo 140-0002 Japan

**YAESU USA**

6125 Phyllis Drive, Cypress, CA 90630, U.S.A.

**YAESU UK**

Unit 12, Sun Valley Business Park, Winnall Close  
Winchester, Hampshire, SO23 0LB, U.K.